

令和 7 年度彩の国あんしんセーフティネット事業 担当相談員専門研修

実施日	令和 7 年 12 月 19日(金)
参加者	35名
講師 事例検討	文京学院大学 中島修 教授 社会貢献支援員



中島教授による講義

内容

彩の国あんしんセーフティネット事業の担当相談員としての役割や見立ての重要性を学ぶとともに、〇×クイズ形式で事例検討を行い、現物給付の考え方や判断についてのポイントを学ぶ。

1 講義「相談員(CSW)の役割と支援における見立ての重要性について」

2 演習 〇×クイズ形式による事例検討

提示した事例について参加者全員で現物給付の可否を検討することで、担当相談員として、支援をする際に求められるアセスメントの視点に関する学びを深める。



〇×クイズ形式 事例検討の様子

参加者の声

- ・あんしんセーフティネット関連の研修は初参加であったが、制度の仕組みを知ることができ、今後の取組に活かすことができると感じた。実際の相談はまだ受けたことがないが、事例も含めて提示していただいたことで、イメージすることもできた。
- ・様々な事例を検討することができて、とても参考になった。情報の精査や、相談者の背景を知ることが重要であることを改めて理解できた。
- ・講義だけではなく〇×のクイズ形式で参加できたので、一つ一つの事例を自分ならどうするかと考える良い機会になった。
- ・自分にとって良い演習になった。〇×演習は分かりやすく考えやすかった。
- ・判断に悩むケースばかりで、自分の視点や捉え方を改めて認識できた。皆さんの意見を参考に今後の支援の際に活かしていきたい。
- ・相談者からの訴えだけではなく、よく観察、話を聞いて本当に困っていることに気づけるようになりたいと思った。